



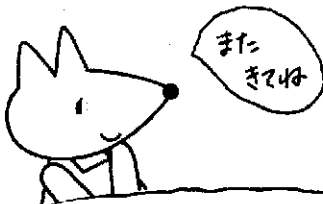
みずぼうそう(水痘)



- ・唾液からの飛沫感染のほか、発疹に接触しても感染します。(水痘帯状疱疹ウイルス)
- ・潜伏期間は、約2週間

家庭で気をつけること

- ① かゆみ——かゆみが強く、ひっかいてかきこわさないよう爪は短くしておきましょう。赤ちゃんとら、手袋をするのもいいでしょう。
- ② 入浴——高い熱がなければ、さっと汗を流しておくほうが、かゆみも少なく、化膿することも少ないです。体が温まりすぎると、かゆみが増します。
- ③ 食べ物——口の中、水疱ができると痛いので、しみる物(塩辛いものや すっぱいもの)は避けましょう。特に食べてはいけないものはありません。水分を補給しましょう。
- ④ おくすり——のみ薬は、水ぼうそうを軽くするためのおくすりですから、忘れずに飲みましょう。かゆみ止めの軟膏が処方されたときは、すべての発疹に塗らなくてもいいので、かゆがる所だけに塗って下さい。(目や口のまわりは避けましょう。)
- ⑤ 予防接種——予防接種の予定のある方は、1ヶ月あけて下さい。水ぼうそうにかかった人は、予防接種(水痘ワクチン)の必要はありません。

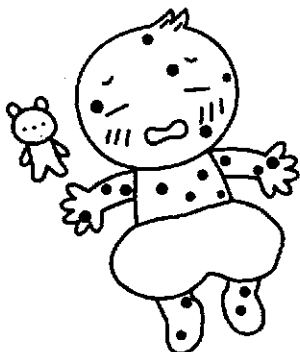


- ⑥ 保育園・学校——ぶつぶつが全部かさぶたになれば登園できます。3~4日後(薬が終わるころ)にもう一度受診して下さい。登園してもよいかの確認をします。必要な方には、登園許可証をお書きします。

ぶつぶつが全部かさぶたになるまで あそべないんだよ~

気になることがございましたら
ご相談ください。次の受診は
月 日 ごろです。

あそぼうよ~



おくだこどもクリニック
〒680-0942 鳥取市湯山町東3丁目67
TEL: 0857-31-2222